



2021年3月期 決算説明会

2021年5月11日



I. 決算

1. 決算のポイント
2. 当期の業績
3. 次期の業績予想

2021年3月期 決算のポイント

1. 当期の業績は、第2Q以降の回復により、
通期予想を上回る

2. 当期の配当金は、前期から10円減少の150円
次期の配当金は、当期から20円増加の170円を計画

3. 次期の業績は、増収・増益を計画

業績<実績>

(単位:億円)

| | 20/3期 | 21/3期 | 増減 | |
|------------------------|---------------|---------------|-------------|----------|
| | | | | 率 |
| 売上高 | 21,713 | 21,183 | ▲530 | ▲2.4% |
| 営業利益 | 1,282 | 1,181 | ▲101 | ▲7.9% |
| 税引前利益 | 1,962 | 1,840 | ▲122 | ▲6.3% |
| 純利益 | 1,458 | 1,367 | ▲91 | ▲6.3% |
| 1株当たり 純利益 | 469円85銭 | 440円28銭 | ▲29円57銭 | - |
| 1株当たり 配当金 (うち期末) | 160円 (80円) | 150円 (80円) | ▲10円 (-) | - (-) |
| 配当性向 | 34.1% | 34.1% | - | - |

| | | | | |
|--------|------|------|-----|---|
| U S \$ | 109円 | 106円 | ▲3円 | - |
| ユ ー ロ | 121円 | 124円 | 3円 | - |

- ・各事業の販売台数減などにより減収・減益
- ・第2Q以降の回復により、通期予想を上回る業績

セグメント情報<実績>

上段:売上高 下段〔 〕:営業利益

(単位:億円)

| | | 20/3期 | 21/3期 | 増減 | 率 |
|------|----------------|-------------------|-------------------|----------------|--------|
| 自動車 | 車両 | 899 | 883 | ▲16 | ▲1.7% |
| | エンジン | 1,385 | 1,399 | 14 | 1.0% |
| | カーエアコン用コンプレッサー | 3,282 | 3,016 | ▲266 | ▲8.1% |
| | 電子機器ほか | 571 | 616 | 45 | 8.0% |
| | 計 | 6,138 〔172〕 | 5,916 〔47〕 | ▲222 〔▲125〕 | ▲3.6% |
| 産業車両 | | 14,363 〔1,022〕 | 14,314 〔1,099〕 | ▲49 〔77〕 | ▲0.3% |
| 繊維機械 | | 617 〔29〕 | 408 〔▲11〕 | ▲209 〔▲40〕 | ▲33.9% |
| その他 | | 593 〔59〕 | 543 〔44〕 | ▲50 〔▲15〕 | ▲8.4% |
| 合計 | | 21,713 〔1,282〕 | 21,183 〔1,181〕 | ▲530 〔▲101〕 | ▲2.4% |

販売台数

(単位:千台)

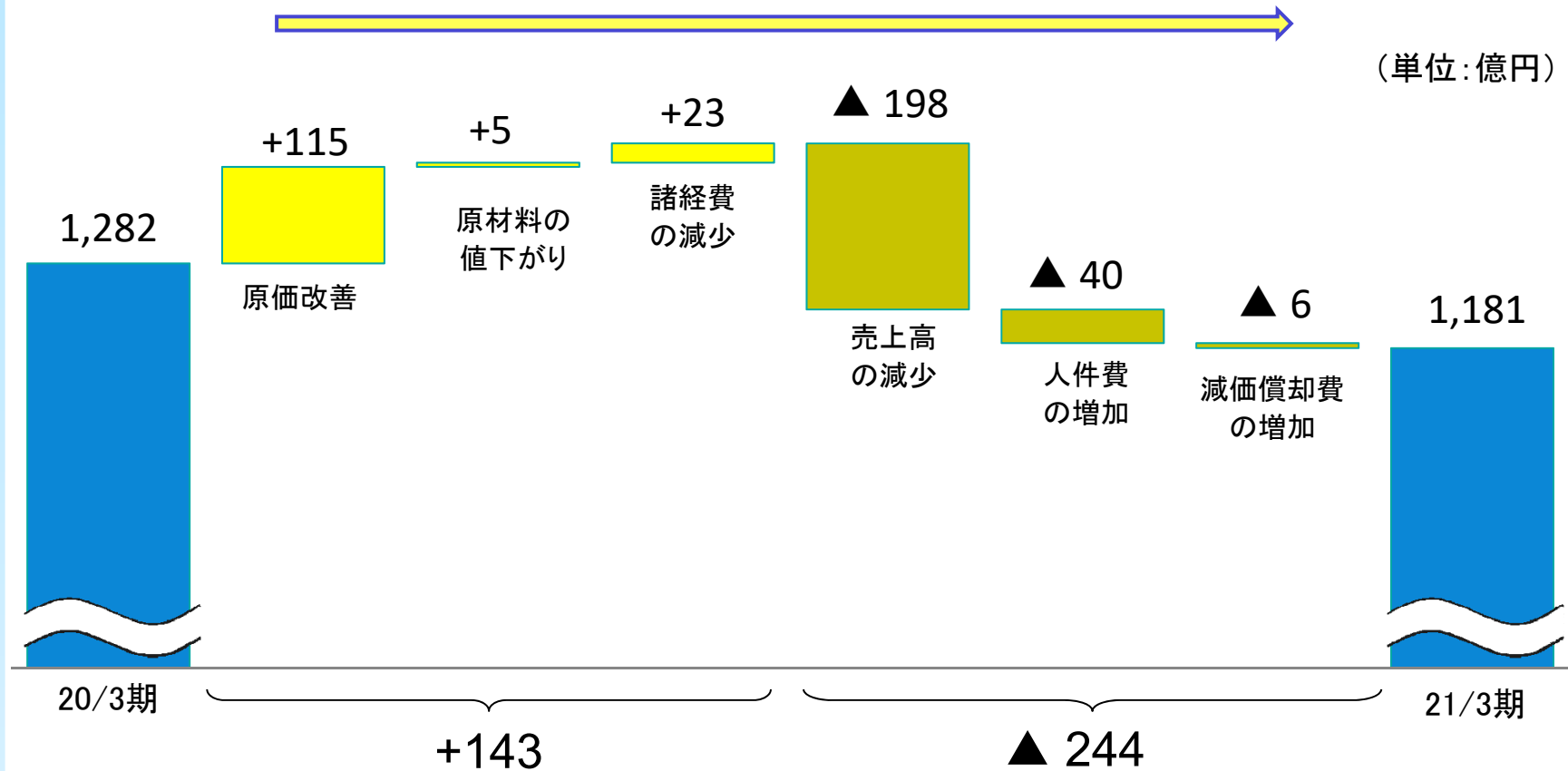
| | | 20/3期 | 21/3期 | 増減 |
|--------------------|-------------|-------------|------------|-----|
| 車両 (RAV4) | | 324 | 323 | ▲1 |
| エンジン計 | ディーゼル | 389 | 362 | ▲27 |
| | ガソリン | 418 | 403 | ▲15 |
| エンジン計 | | 807 | 765 | ▲42 |
| カーエアコン用 コンプレッサー | 万台 3,103 | 万台 2,751 | 万台 ▲352 | |
| 産業車両 | | 278 | 250 | ▲28 |
| エアジェット 織機 | 6.8 | 4.7 | ▲2.1 | |

注 当第4四半期より、「電子機器・鋳造品ほか」を「電子機器ほか」に名称変更し、「電子機器・鋳造品ほか」に含めていた鋳造品等を「エンジン」と「カーエアコン用コンプレッサー」に組替えております。前期の数値につきましても、組替えを実施しております。

- 車両 : RAV4が、国内向けは増加したものの海外向けが減少し、売上高は前期並み
- エンジン : ディーゼル/ガソリンエンジンは減少したものの、鋳造品が増加し、売上高は前期並み
- コンプレッサー : 北米や欧州などで減少したことにより、売上高は減少
- 産業車両 : フォークリフトが欧州や北米などで減少したものの、物流ソリューションが貢献し、全体では減収・増益

営業利益の増減要因 <実績>

営業利益 ▲ 101億円 (1,282 → 1,181億円)



・原価改善活動の推進、諸経費の減少があったものの、
主に売上高の減少などにより減益

業績<実績>

(単位:億円)

| | 20/3期 | 21/3期 | 増減 | |
|-------|-------|-------|----|------|
| | | | | 率 |
| 設備投資 | 1,060 | 1,133 | 73 | 6.9% |
| 減価償却費 | 904 | 910 | 6 | 0.7% |

- ・設備投資は、コンプレッサーや産業車両が減少したものの、エンジンや、電池を含む電子機器ほかなどが増加したことにより、全体では増加

業績＜期末実績＞

(単位:億円)

| | 20/3期 期末 | 21/3期 期末 | 増減 | |
|---------------------|-------------|-------------|-----------|-------|
| | | | | 率 |
| 資産合計 | 52,796 | 65,039 | 12,243 | 23.2% |
| 資本合計 | 25,205 | 33,225 | 8,020 | 31.8% |
| 1株当たり親会社 所有者帰属持分 | 7,854円87銭 | 10,422円64銭 | 2,567円77銭 | — |
| 親会社所有者 帰属持分比率 | 46.2% | 49.8% | — | — |
| 連結子会社数 | 256社 | 256社 | — | — |

- ・資産合計は、投資有価証券の時価評価額が増加したことにより、増加

業績＜次期予想＞

(単位:億円)

| | 21/3期 | 22/3期 | 増減 | |
|------------------------|---------------|---------------|--------------|--------|
| | | | | 率 |
| 売上高 | 21,183 | 23,000 | 1,817 | 8.6% |
| 営業利益 | 1,181 | 1,500 | 319 | 26.9% |
| 税引前利益 | 1,840 | 2,150 | 310 | 16.8% |
| 純利益 | 1,367 | 1,600 | 233 | 17.0% |
| 1株当たり 純利益 | 440円28銭 | 515円33銭 | 75円05銭 | — |
| 1株当たり 配当金 (うち期末) | 150円 (80円) | 170円 (90円) | 20円 (10円) | — — |
| 配当性向 | 34.1% | 33.0% | — | — |
| US\$ | 106円 | 105円 | ▲1円 | — |
| ユ—口 | 124円 | 125円 | 1円 | — |

セグメント情報<次期予想>

上段:売上高 下段[]:営業利益

(単位:億円)

| | | 21/3期 | 22/3期 | 増減 | 率 |
|------|-------------------|-------------------|----------------|-------|-------|
| 自動車 | 自動車 | 883 | 930 | 47 | 5.2% |
| | エンジン | 1,399 | 2,000 | 601 | 42.9% |
| | カーエアコン用コンプレッサー | 3,016 | 3,600 | 584 | 19.4% |
| | 電子機器ほか | 616 | 850 | 234 | 37.8% |
| | 計 | 5,916 [47] | 7,380 | 1,464 | 24.7% |
| 産業車両 | 14,314 [1,099] | 14,700 | 386 | 2.7% | |
| 繊維機械 | 408 [▲11] | 420 | 12 | 2.8% | |
| その他 | 543 [44] | 500 | ▲43 | ▲8.0% | |
| 合計 | 21,183 [1,181] | 23,000 [1,500] | 1,817 [319] | 8.6% | |

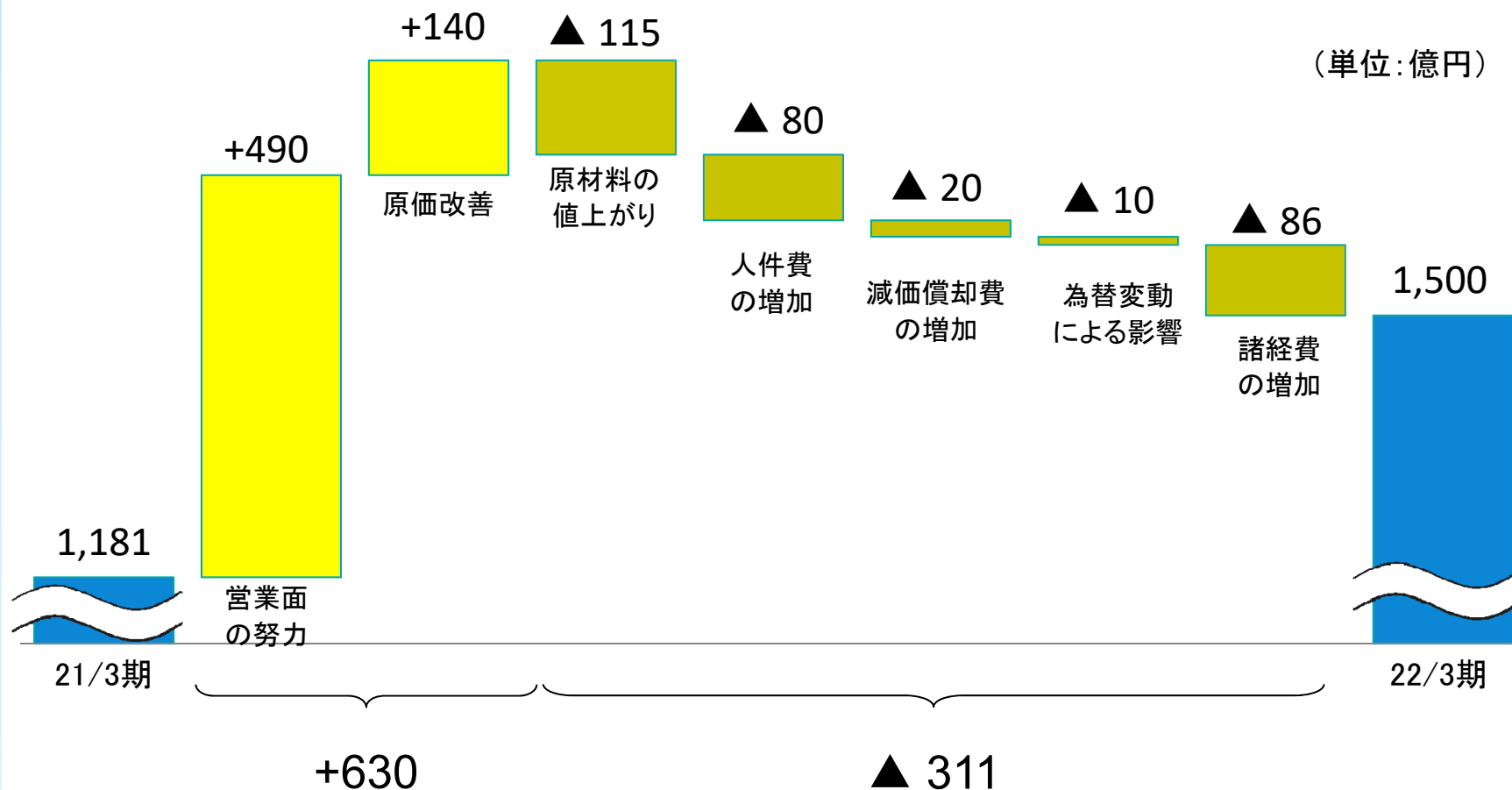
販売台数

(単位:千台)

| | | 21/3期 | 22/3期 | 増減 |
|--------------------|----|-------|-------|-----|
| 車両 (RAV4) | | 323 | 330 | 7 |
| ディーゼル ガソリン | | 362 | 408 | 46 |
| | | 403 | 430 | 27 |
| エンジン計 | | 765 | 838 | 73 |
| カーエアコン用 コンプレッサー | 万台 | 2,751 | 3,250 | 499 |
| 産業車両 | | 250 | 306 | 56 |
| エアジェット 織機 | | 4.7 | 5.0 | 0.3 |

営業利益の増減要因 <次期予想>

営業利益 +319億円 (1,181 → 1,500億円)



業績＜次期予想＞

(単位:億円)

| | 21/3期 | 22/3期 | 増減 | |
|-------|-------|-------|-----|-------|
| | | | | 率 |
| 設備投資 | 1,133 | 1,400 | 267 | 23.5% |
| 減価償却費 | 910 | 930 | 20 | 2.1% |

Ⅱ. 事業の取り組み

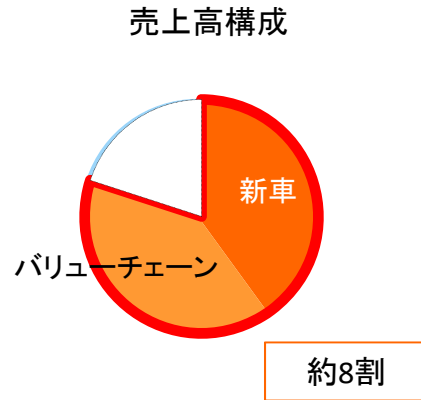
産業車両

カーエアコン用
コンプレッサー

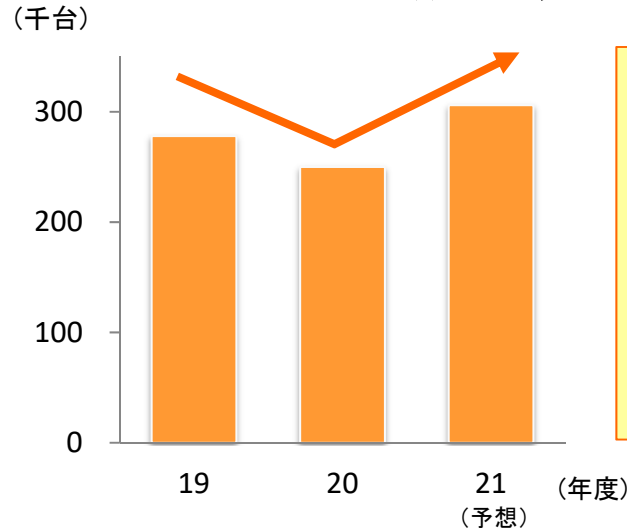
産業車両

1. 販売の状況

フォークリフト

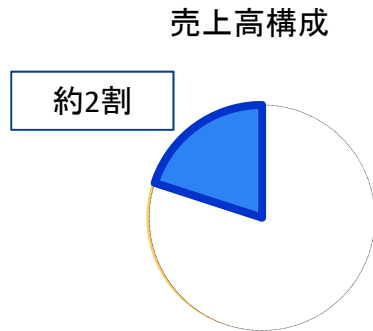


フォークリフトの販売台数

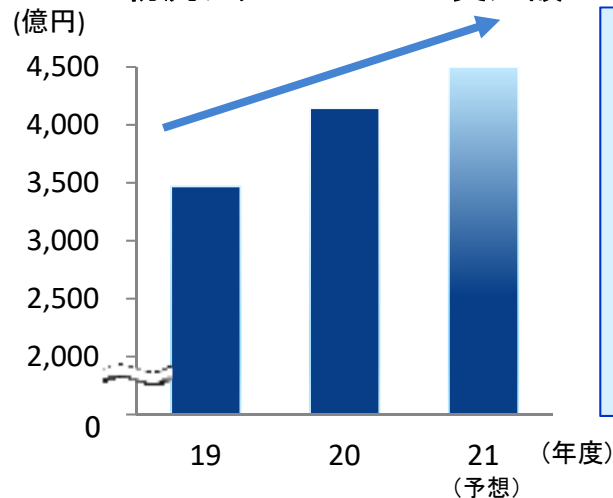


- ・汎用性の高さによる底堅い需要
- ・経済の回復に加え、eコマース市場拡大による新規需要もあり増加

物流ソリューション



物流ソリューションの受注額



- ・eコマース関連を中心に受注は堅調
- ・コロナ禍での非接触ニーズもあり、自動化・省人化ニーズが一層拡大

産業車両

2. 自動化の取り組み(1/3)

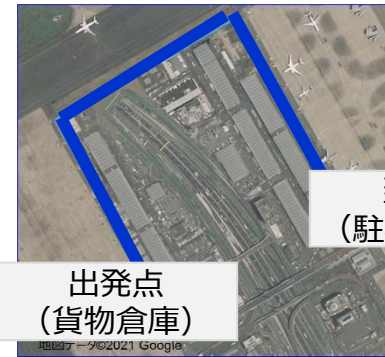
■ トーイングトラクターの自動運転による省人化ニーズへの対応

- ・羽田空港初のトーイングトラクター自動走行実証実験を実施 (レベル3※相当)
- ・高度な自己位置推定性能と走行性能を兼ね備えた自動運転トーイングトラクターを開発

※決められた条件下で、全ての運転操作を自動化
ただし、ドライバーはいつでも運転に戻れなければならない



新開発の自動運転トーイングトラクター



羽田空港での自動運転ルート

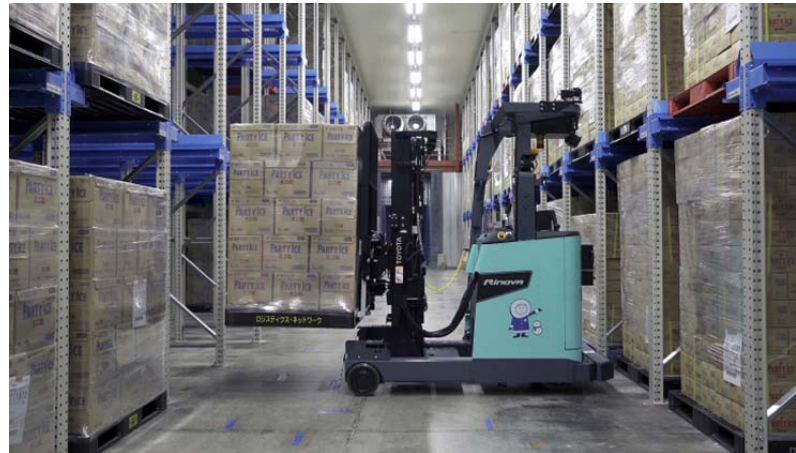
2021年10月の実運航便での試験運用、
2025年の無人搬送実現をめざす

産業車両

2. 自動化の取り組み(2/3)

■ 自動運転フォークリフトによる労働環境改善への貢献

- ・ 冷凍倉庫内(-25℃)におけるフォークリフト作業自動化に向け
(株)ニチレイロジグループ本社と共同で実証実験を実施



冷凍倉庫で作業する自動運転フォークリフト

実証実験で得られた知見をもとに実用化をめざす

産業車両

2. 自動化の取り組み(3/3)

■ 自動運転技術の開発を加速 - 新会社を4月に設立

- ・フォークリフト事業と物流ソリューション事業を営む総合力を最大活用し、包括制御システムを開発



物流現場内の
機器や車両を
包括的に制御



物流の効率・
安全・環境の
全体最適をはかる

産業車両

3. サービスの取り組み(1/2)

■フォークリフト稼働管理システムによる予防保全

- ・建設機械用大型タイヤを製造する日本ジャイアントタイヤ(株)へ稼働管理システムT_Siteを導入



- ・**予防保全**を含む**フルメンテナンス**の実施により突発的な故障が減り、**メンテナンスコスト**を削減
- ・オペレーターの**安全意識が向上**し、フォークリフトの**衝突回数**も低減



稼働管理システム T_Site



高い技術を持つスタッフによるメンテナンス

産業車両

3. サービスの取り組み(2/2)

■英国ハブ空港において長期サービス契約を受注

- ・**ロンドン・ヒースロー空港**の**全ターミナル**を対象とした**10年間**のサービス契約を締結
 - ・**20年**にわたる取引関係のなかで培ってきた**商品やサービスの信頼性**を高く評価
- ▼
- ・**空港内物流の安定稼働、機能向上**に貢献



手荷物用自動倉庫



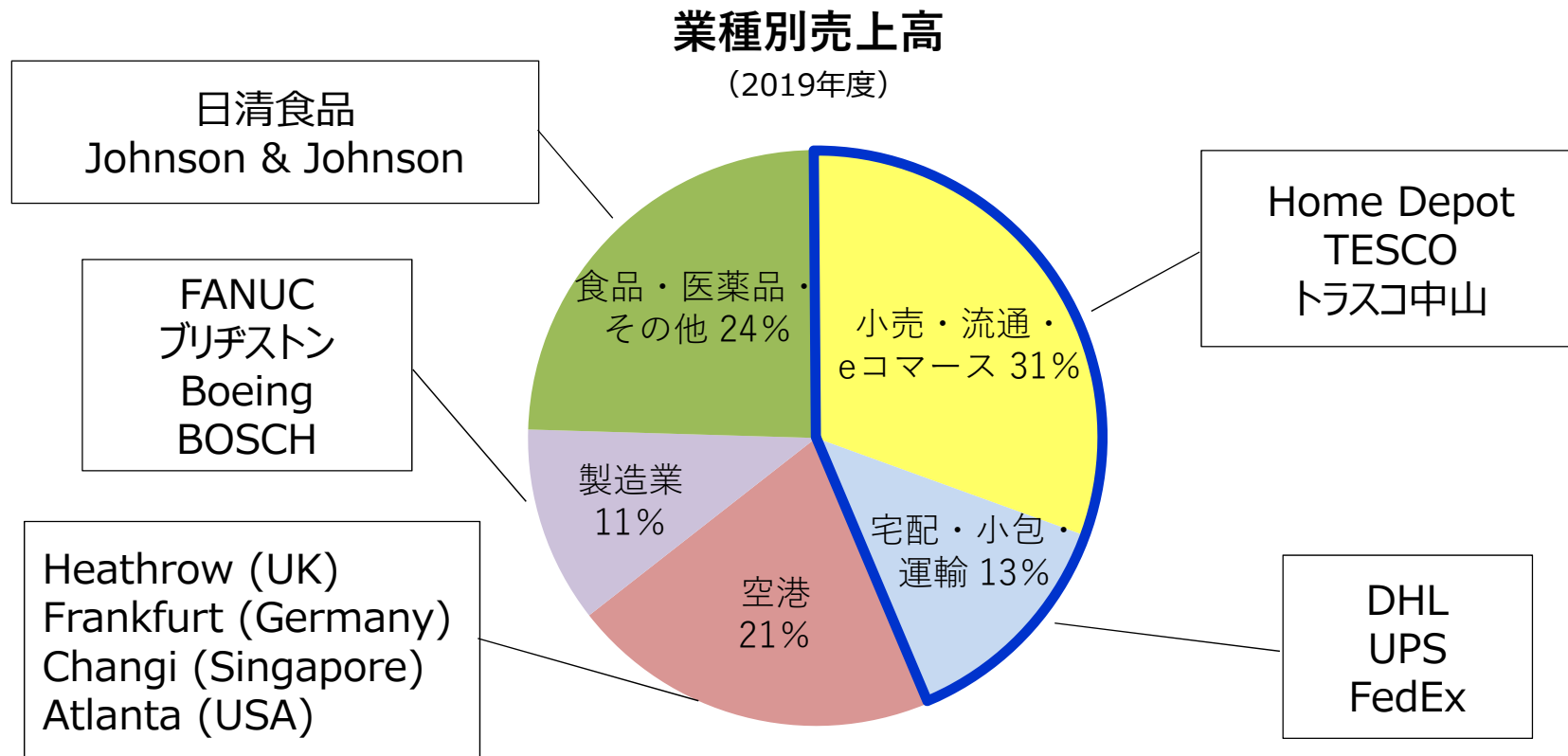
手荷物引き取りターンテーブル

産業車両

4. 物流ソリューション事業の取り組み(1/3)

■ バランスの取れたお客様の業種構成

- ・eコマースや宅配・小包、空港など**バランス**の取れた売上げ構成
- ・生活に密着している**eコマース**、**宅配・小包**などの受注が**好調**



産業車両

4. 物流ソリューション事業の取り組み(2/3)

■ 事業拡大の取り組み - ファンダランデ社



米国eコマース大手の空港隣接物流センター
eコマース拡大により航空貨物が増加



フランス食品大手の物流センター
食品業界のニーズが拡大



オランダ大手デパートの物流センター
最先端の高速仕分けシステム
日本市場にも5月に導入開始

<その他>

■ **中国地場大手**の宅配業者から
物流センター案件を受注

など

産業車両

4. 物流ソリューション事業の取り組み(3/3)

■事業拡大の取り組み - バスティアン社



北米新興カーメーカーの自動倉庫
国内ソリューションチームと連携し、開発



トヨタのけん引車に自動運転機能を搭載
フォークリフト販売店で取り扱い開始



トラックへの自動積み降ろしロボットULTRA
日本市場への本格導入をはかる

<その他>

- ファンダランデ社と連携し、
米国eコマース大手へ
物流システムを導入
など

トヨタL&Fカスタマーズセンター東京をリニューアル

- ・多様な現場に対応する最先端の機器やシステムを展示
- ・バスティアン社のトラックへの自動積み降ろしロボット、ファンダランデ社の高速仕分けシステムなども紹介



外観



エントランス



レイアウトシミュレーター



ロボティクスによるフルオートメーション



人と機械の調和によるセミオートメーション



ソリューション体感フロア

Ⅱ. 事業の取り組み

産業車両

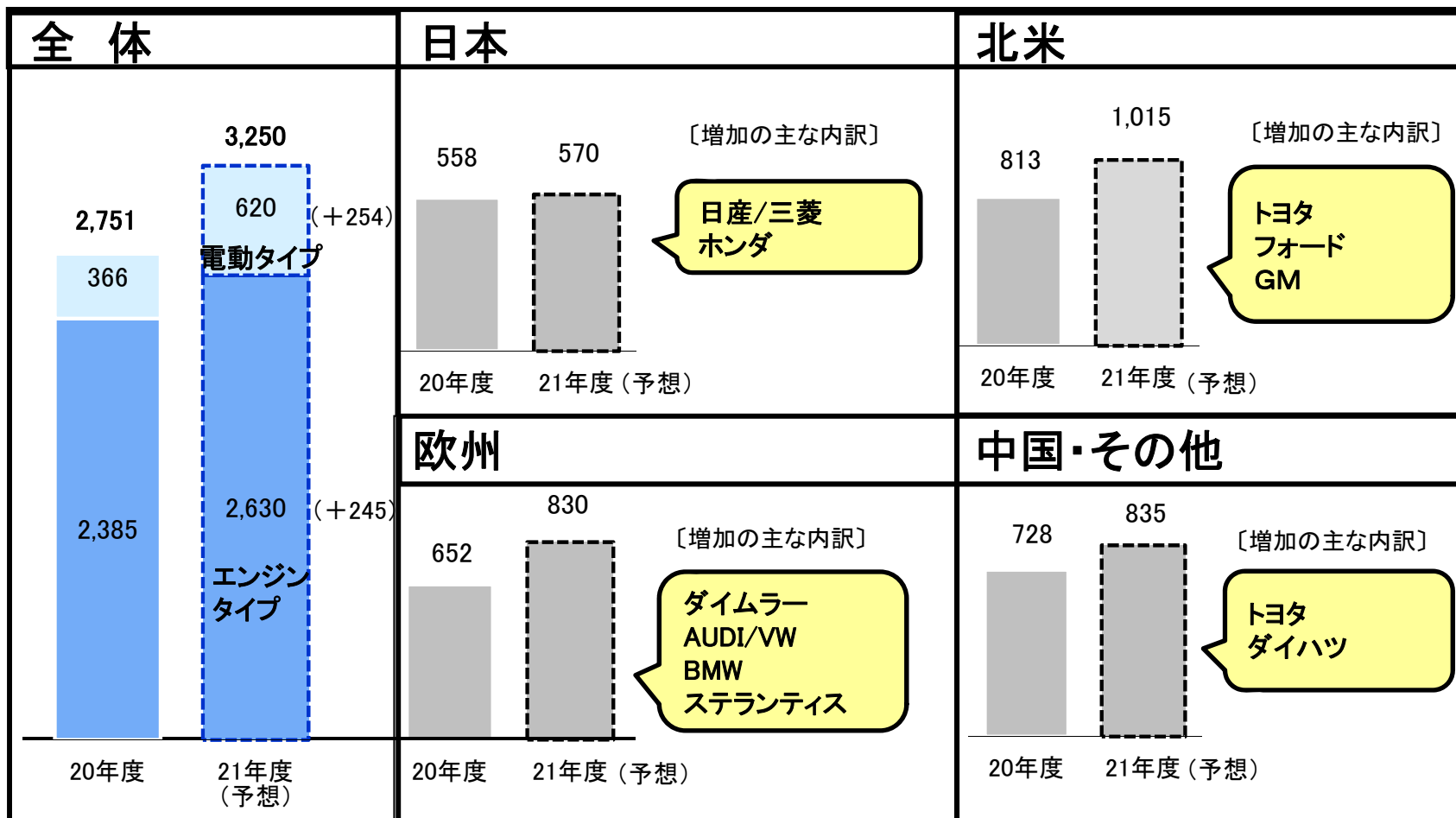
カーエアコン用
コンプレッサー

コンプレッサー

1. 足元の販売見通し

自動車市場回復および当社拡販により
エンジン・電動両タイプともに販売を拡大

(単位:万台)



コンプレッサー

2. 電動タイプの開発による技術面・販売面の広がり

技術面の向上

機種および要素技術の開発によりノウハウを蓄積

技術の優位性を活かし
拡販を推進

世界のカーメーカーとの
技術情報や課題の共有

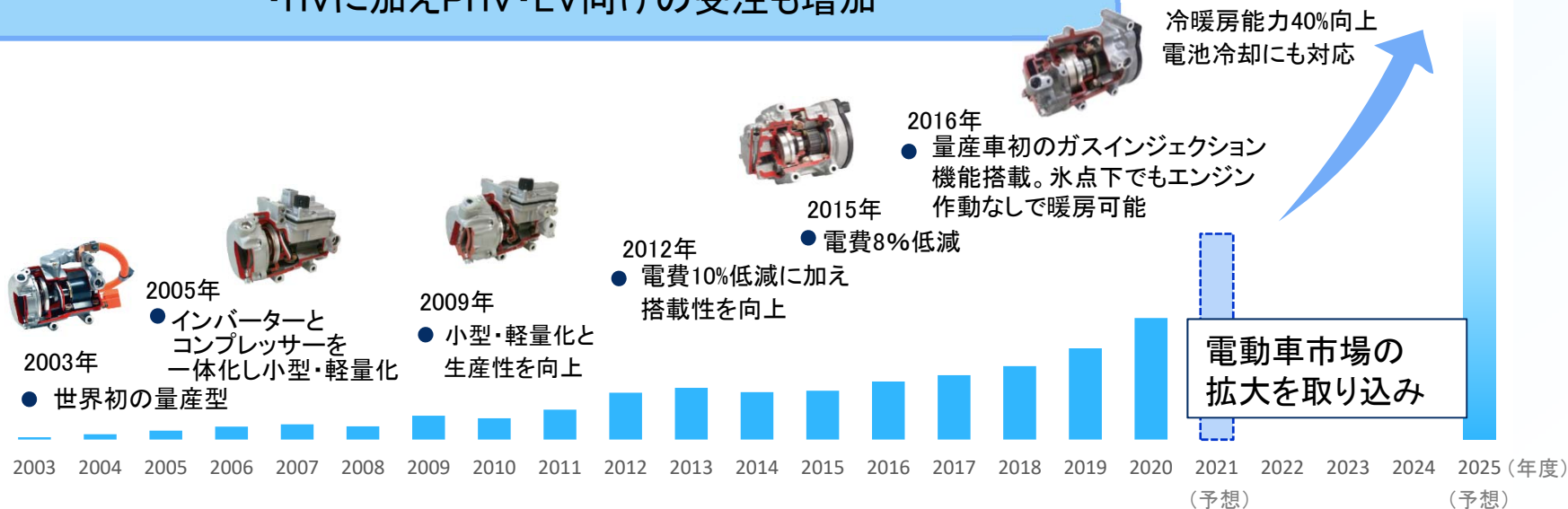
販売面の広がり

- ・トヨタの全電動車への搭載に加え、
その他の国内外カーメーカーへも拡販中
- ・HVに加えPHV・EV向けの受注も増加

- 大容量化で、
冷暖房能力40%向上
電池冷却にも対応

2025年度
1,000万台超

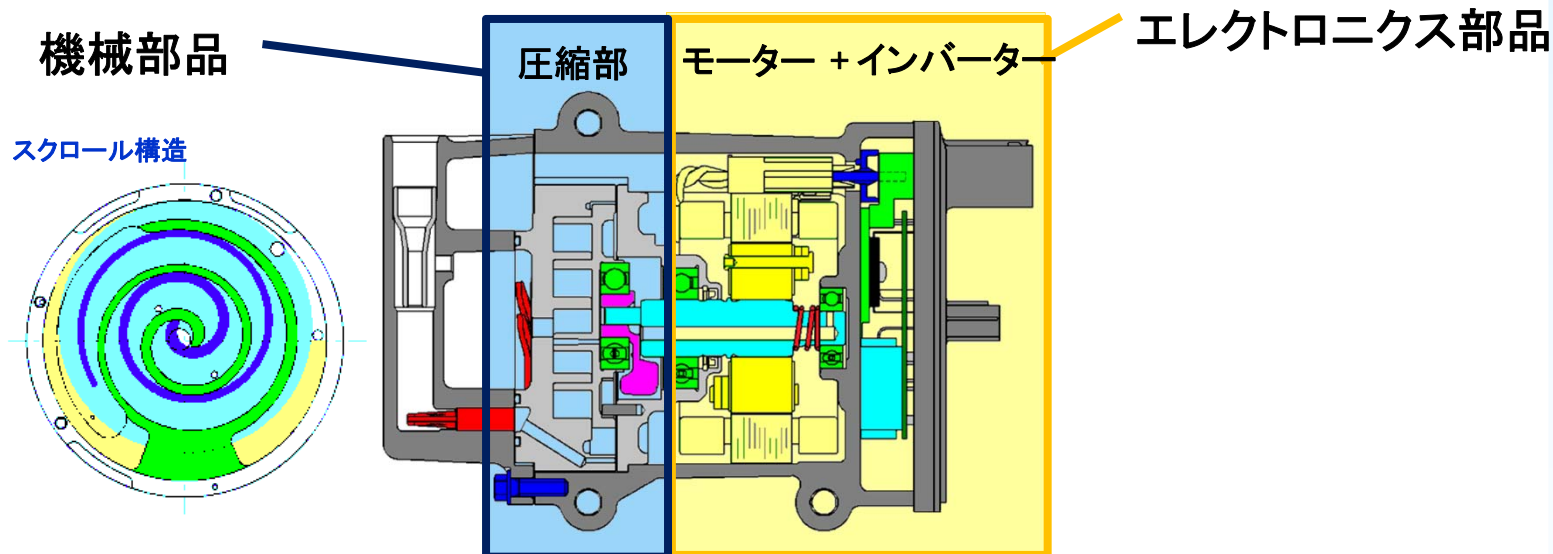
(万台)
1,000



電動車市場の
拡大を取り込み

コンプレッサー

3. 電動コンプレッサーの特徴と当社の強み



機械部品

エンジンタイプで培った、
・圧縮部の特許取得技術による設計
・精密な加工・組立技術
⇒ **高い省電費性能・低騒音を実現**

エレクトロニクス部品

・独自開発のモーター・インバーター
⇒ **低電磁ノイズ・小型軽量化を実現**

機械部品とエレクトロニクス部品の両面の強みにより高い商品力を実現

| | 当社電動タイプの強み | 当社の対応 |
|---------------------|------------------|--|
| H・V・P・H・V・E・V 共通 | 幅広い商品ラインナップ | 小型車から高級車まで幅広い車種へ対応 |
| | 省電費・低騒音・低振動 | <ul style="list-style-type: none"> ・独自の特許取得技術による設計 ・精密な加工・組立技術を活かした 量産時の品質・性能の確保 |
| | カーメーカーへのサポート力 | カーメーカーが抱えるさまざまな課題に対する解決策の提案 |
| P・H・V・E・V 特有 | 充電時の家電などへの電波障害防止 | インバーターの性能向上による低電磁ノイズ化 |
| | 暖房時の電費改善 | ヒートポンプ空調に対応した高効率なコンプレッサーの開発 |
| | 電池などの冷却 | 室内冷却で培った信頼性を活かし、走行系部品に役割を拡大 |

コンプレッサー

5. コア技術を活用した事業領域の拡大

電子機器・
電池の冷却



暖房機能や
機器冷却へ拡大

高効率、信頼性の強みを活用



車室内の暖房

車室内の冷房



PHV・EV車用

エンジン・HV車用

走行系部品へ
領域を拡大

これまで培ってきた
圧縮技術を応用

FCV新型「MIRAI」に当社開発の
エアコンプレッサーと
水素循環ポンプが搭載



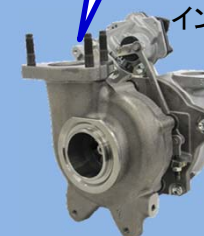
水素循環ポンプ



酸素供給
エアコンプレッサー



インペラ



ターボチャージャー

トピックス

■ RAV4販売好調が継続

2020年度当社生産のうち
60%以上が**電動車**(HV/PHV)



RAV4 PHV

■ 当社がデザイン～開発を手掛けたハリアーが 「グッドデザイン賞」を受賞 さらに【ベスト100に選定】

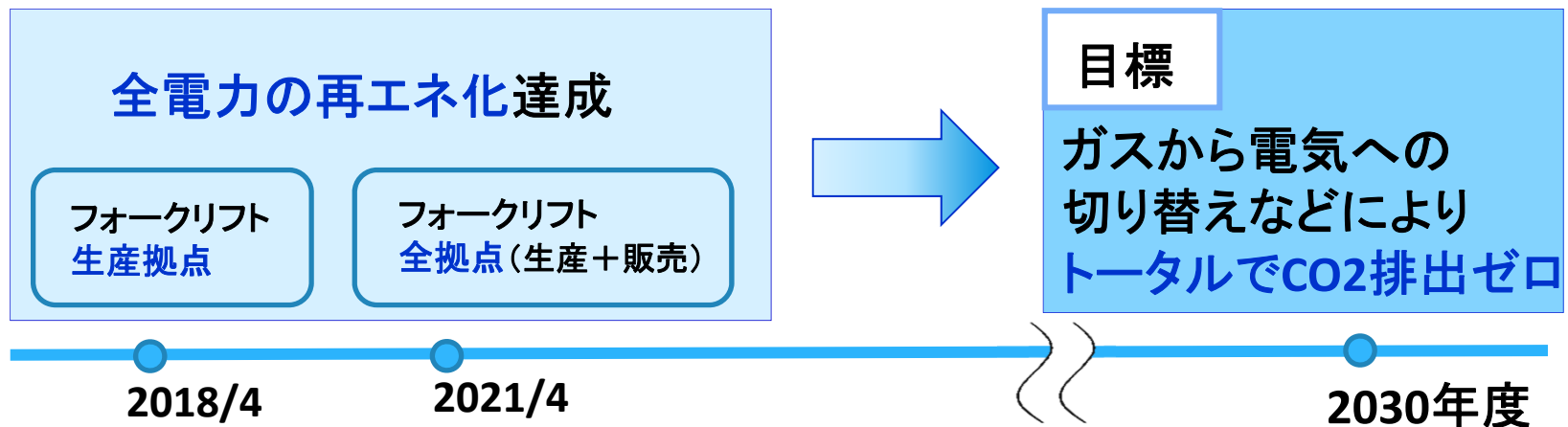
当社が**アッパーボディ設計**に加え、
外形・内装のデザインなどを開発



ハリアー

トピックス

■ 欧州のフォークリフト事業におけるCO2ゼロへの取り組み



スウェーデン工場の太陽光パネル



イタリア工場の太陽光パネル

将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。

実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。